

子ども会活動についてのプログラムの立て方

『主役は子ども？大人？』

◎ プログラムとは…その活動の全体の経過すべて（事前、本番、事後）を含んだもの。

【子ども主体の活動のポイント】

- ① 活動を通して子ども達の友情関係が高まるもの。
- ② 活動が子ども達の興味・関心から生まれたもの。
- ③ 活動が子ども自身の手によって考え出されたもの。
- ④ 結果より経過を大切にする活動であること。

【プログラムの成り立ち】

- ① 活動のねらい・目的
- ② 5W2H（いつ・どこで・だれが・何を・なぜ・どのように・いくらで）
- ③ 役割分担
- ④ 材料・物品
- ⑤ 広報
- ⑥ 反省

【プログラム作成の手順】

- ① 子ども達の希望・要望
- ② 活動の企画・立案
- ③ 係分担・準備作業
- ④ 当日の実施
- ⑤ 反省・引継ぎ・発展

【役割分担の必要性】

- ① 奉仕の気持ちを育てる…みんなのために仕事をすることの喜びがわかる。
- ② 集団の意識を高める…係活動により集団の中のひとりであることを自覚できる。
- ③ 承認と能力開発…みんなから認められる喜びを持ち隠れた能力を引出す。
- ④ 協調性が培われる…活動により協力する大切さがわかる。
- ⑤ 責任感を高める…責任を持って最後までやり遂げようとする気持ちが育つ。

〔 育成者は、子ども達が立てたプログラムがみんなの意見が生かされているか、目的と内容が食い違ってないかなどといった部分をチェックしてあげる。 〕